

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	コーキ・テクノ株式会社 本社工場 新	階数	地上4F
建設地	大阪府八尾市南植松町	構造	S造
用途地域	工業地域、準防火地域、都市計画区	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,040 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年1月 予定	評価の実施日	2020年4月15日
敷地面積	2,451 m ²	作成者	株式会社 浅野建築設計事務所 浅野 秀隆
建築面積	1,435 m ²	確認日	2020年4月17日
延床面積	2,253 m ²	確認者	株式会社 浅野建築設計事務所 浅野 秀隆



浅野 秀隆 シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.2</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆ 80% ☆☆☆ 100% ☆☆ 100%超: ☆</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
Q のスコア = 2.6		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 3.1</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 2.6</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 2.3</p>
LR 環境負荷低減性		
LR のスコア = 3.6		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 3.9</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 3.4</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.5</p>

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
周囲に緑地を配置するなどして環境に配慮した。	特になし	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
遮音等級T-2としている。	更新必要間隔の長い内装仕上げ材を使用している。	出来る限りの緑地を設けた。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
BPI=0.8 BEIm=0.72 効率の良いLED照明の採用している。	リサイクル材を1品目採用している。	ライフサイクルCO ₂ 排出率を低く抑えた。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-変-0025

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	コーキ・テクノ株式会社 本社工場 新築工事						
		建設地	大阪府八尾市南植松町						
		用途/区分	工場 事務所						
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+			
①	CO2削減					4			
②	みどり・ヒート アイランド対策					3			
③	建物の断熱性					5			
④	エネルギー削減					4			
⑤	自然エネルギー直接利用					—			
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
エネルギー消費量の報告						報告しない			
【評価項目】									
項目		評価内容				スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.8	4		
② みどり・ヒートアイランド対策									
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				3.0	3		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0			
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5		
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.0	4		
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない		
その他									
		技術の名称			考慮事項				
先進的技術の導入									
特に配慮した事項									